

識者に聞く 地域銀の有価証券運用

地域銀行が有価証券運用に苦しんでいる。3月の相場急落では、リスク管理の甘さという積年の課題が露呈。世界中で金利低下が進み、運用の難易度は今後さらに増す。持続的に収益を上げ続けるにはどうすべきか。識者に聞いた。（聞き手＝池上 喜康）



なごみ

和キャピタル

小栗 直登 社長 (62)

「現場としては、そういう事態を想定していなかったことが問題。もう一点は、3月の決算間近だったために収益作りを優先する行動があった。つまり、含み益があるものを売って損を埋めたため、ポートフォリオが痛んだ。期間収益は当然大きく切だが、一度悪いものは

「イールドカーブがフラットの状況が何年も続く環境では、キャピタル

「そもそも論をいえば、一番大事なのは経営の市場部門に対する理解だ。市場部門の位置付けやビジョンが明確になっていないため、組織ができません人材も育っていない」

「3月の相場急落時に売りが殺到した。」「コロナ・ショックでは株も債券も全て売られた。こうした状況は2008年のリーマン・ショックと似ている。だが、多くの銀行は経験を生か

して急激な市況変化に対応することができず、単にロスカットしたり、何も動けず含み損を抱えたりしただけだった」

キャピタルゲインへ目を

「課題はどこにある。」「現場として、そういう事態を想定していなかったことが問題。もう

切ったうえでポートを建て直す、言い換えると底値で買いに行くことも重要だ。それによって当期の収益は増えないが、翌期以降の収益の源泉になる。先を見据えた売買がなかった」

「経営の問題は。」「そもそも論をいえば、一番大事なのは経営の市場部門に対する理解だ。市場部門の位置付けやビジョンが明確になっていないため、組織ができません人材も育っていない」

「地域銀の運用の現状をどうみる。」「保有する国債・地方債の大部分が今後3、4年で償還になるが、利回りが見込めず再投資は難しい。収益を得るには新たなリスクを取らねばな

らず、私募投資信託での運用割合が上昇している。だが、複雑化するリスクの管理ができていない点に問題がある」

「改善策は。」「プロダクトによる対症療法ではなく、投資運用プロセスを抜本的に見直すべきだ。貸出を含むアセットから中長期的に安定して利益を得るには、どのリスクを取り、

「根本的な問題は現場ではなく経営にある。リターンの9割は全体の資産アロケーションで決まるが、証券会社が提案した私募投信などを積み上げ、部分ごとによりリターンを得ようとする銀行が多い。本来は経営がしっかりと方針を示し、現場に落としてこむべきだ」

「運用の外部委託が広がっている。」「プロに運用を任せれば利回りは改善するとの意見も聞くが、外部への丸投げではダメだ。責任を取るのはあくまで銀行。預金を運用するという点で、貸出も政策投資も有価証券運用も変わらない。経営陣はその全てに責任を持つべきだ。自前で戦略策定やモニタリングが難しければ、外部の中立的なアドバイザーに力を借りれば良い」



日本資産運用基盤グループ

大原 啓一 社長 (41)

「運用の外部委託が広がっている。」「プロに運用を任せれば利回りは改善するとの意見も聞くが、外部への丸投げではダメだ。責任を取るのはあくまで銀行。預金を運用するという点で、貸出も政策投資も有価証券運用も変わらない。経営陣はその全てに責任を持つべきだ。自前で戦略策定やモニタリングが難しければ、外部の中立的なアドバイザーに力を借りれば良い」

丸投げは解決策にあらず